

半田市人口ビジョン 概要版

「半田市人口ビジョン」は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、本市の人口の現状と2060年までの将来展望を示し、「半田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基礎として位置付けるもの

1. 人口の現状分析

本市の人口に関する主な特徴

人口動向に関する事項

- 2009年の人口をピークとして減少に転じている。
- 人口動態には自然増減よりも社会増減が影響している。
- 2010年までは20歳代後半～30歳代後半の転入が多く、特に男性の転入が顕著である。
- 10歳代後半～20歳代前半の転出は減少している。
- 転入元転出先とも近隣市町が多いが、近年では首都圏への転出超過が拡大している。

産業に関する事項

- 製造業に就業する男性が特に多い。

交流人口に関する事項

- 観光産業の発展により、今後交流人口の増加を見込むことができる。

アンケート結果からの主なポイント

定住意向に関する事項

- 買い物や通勤通学の便がよく、自然も豊かであり、生活していくうえでの環境が整っていることが本市の住みやすいところであり、今後も定住したいと思う人が多い。
- 社会増減については仕事の都合により転入した人が多く、仮に転出する場合に想定される理由でも仕事の都合を挙げている人が多い。

出産・子育てに関する事項

- ほとんどの既婚女性は、子どもを2人以上持ちたいと思っている。
- 既婚女性の約3割は、理想とする子どもの人数まで持つ予定がなく、それは経済的な負担が主な障壁となっている。
- 出産や子育てに対して、経済的負担のほか、体力的・精神的負担や時間的制約、仕事との両立などが問題と考える女性が多く、周囲の支えが必要となっている。

2. 目指すべき将来の方向

人口流入の確保【社会増の確保】

- ・産業の振興と新たな企業の誘致を図ることにより質の高い雇用の場を確保する。
- ・今後の高い成長性が期待できる観光産業の活性化を図る。
- ・仕事や住まいの総合的な情報提供などの支援を通じてUIJターンを促進させる。

人口流出の抑制【社会減の抑制】

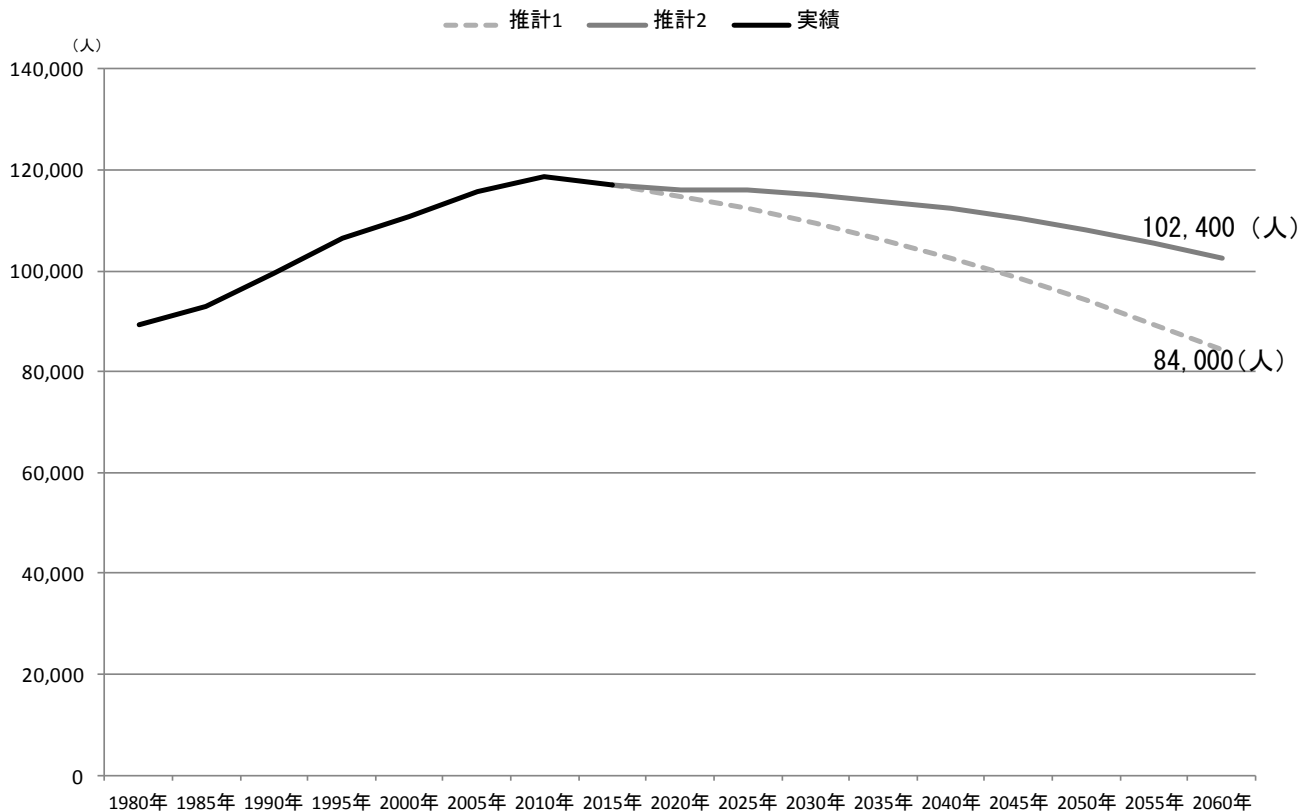
- ・地元で暮らしたいという希望を実現するために地元の学校と企業の連携を促進し、地元での就職率を高める。
- ・暮らしの利便性を維持するとともに、安心・安全で快適な生活環境づくりに向けた施策を推進する。

若い世代の就労や結婚、子育て環境の改善・支援【自然増の確保】

- ・出産に対する若い世代の希望をかなえるための子育て支援を充実する。
- ・ワークライフバランスや仕事と家庭の両立しやすい環境の整備を推進する。

3. 人口の将来展望

近年の本市の人口動態を踏まえ、国の将来人口推計ワークシートにより将来人口を推計すると、2060年には84,000人に減少することが見込まれる（推計1）。しかし、目指すべき将来の方向に沿った今後の施策の効果により、2060年の人口として10万人程度を確保する（推計2）。



人口の推移と将来展望（国勢調査）

2015年は、2015年5月までの住民基本台帳に基づき推計した人口